

日本学術振興会
炭素材料第117委員会
第315回委員会議事録

1. 日時 平成27年9月11日(金) 9:30~17:00
2. 場所 東京工業大学大岡山キャンパス 西8号館1008室
3. 出席者 37名(順不同・敬称略)
- 委員長： 川口雅之(大阪電通大)
- 副委員長： 藤本宏之(大阪ガス)
- 主査： 尾崎純一(群馬大)、豊田昌宏(大分大)、児玉昌也(産総研つくば)
- 幹事： 稲垣道夫(北大名誉)、安田榮一(東工大名誉)、京谷隆(東北大)、
塩谷正俊(東工大)、丸山純(大阪市工研)、小林知洋(理研)、棚池修(産総研東北)
- 委員： 沖野不二雄(信州大)、塩山洋(産総研関西)、小田廣和(関西大)、飯島孝(新日鐵住金)、岩下哲雄(産総研つくば)、今川博(SECカーボン)、高波浩(タンケンシールセーコウ/代理：川村良一)、忠政明彦(パナソニックエコソリューションズ)、羽鳥浩章(産総研つくば)、福田敏昭(東海カーボン/代理：大宮裕美)、森田純子(東洋炭素/代理：森下隆広)、太田道也(群馬高専/代理：加藤正明)
- 委員外： 清原健司(産総研関西)、坪田敏樹(九州工業大)、菱山幸宥(東京都市大名誉)、宮嶋尚哉(山梨大)、西澤節(元神戸製鋼)、山田能生(産総研)、
- 同伴者他： 児島勇(タンケンシールセーコウ)、坪田敏樹(九工大)、夏目勇(元東海カーボン)、吉澤徳子(産総研つくば)、石井孝文(群馬大)、干川康人(東北大)、日吉正孝(新日鐵住金)

4. 本委員会議事経過

4-1 前回議事録の承認

- ・ 第314回委員会議事録(案)の確認と承認を行った。
- ・ A, B, C分科会議事録(案)について、確認と承認を行った。

(A分科会)

- 1ページ目3行目：117-134-A-1 → 117-314-A-1
- 1ページ目17行目：117-134-A-2 → 117-314-A-2
- 1ページ目18行目：関する報告がなされた → 関する研究報告をした
- 2ページ目1行目：117-134-A-3 → 117-314-A-3
- 2ページ目9行目：ポリジアセチレン構造 → ポリアセチレン構造
- 2ページ目13行目：保持された構造の → 保持された構造が

(B分科会)

- 2ページ目1行目：117-311-B-2 → 117-314-B-2

2 ページ目 5 行目：統計熱的解析 → 統計熱力学的解析
最下部の共著者リストより、発表者の名を消す

(C 分科会)

1 ページ目 5 行目：減少することが → 減少する場合も

1 ページ目 20 行目：水熱炭素化 → 水熱処理

4-2 117 委員会関連報告

(1) 委員長報告など

① 会員異動

新規委員推薦：山梨大・宮嶋尚哉様（委員外登録より身分変更）

新規委員外登録：東北大・西原洋知様、九工大・坪田敏樹様（以上、前回発表者）
産総研つくば・吉澤徳子様、同・曾根田靖様（以上、推薦）

② 平成 27 年度特別講演会について

11 月 19 日（木）に行う特別講演会の実施内容について案内された。講演者は、すでに確定済みの矢野豊彦様（東工大）、鷹觜利公様（産総研）に加え、若手講演者として千葉大の大場友則様、名古屋大の入澤寿平様に受諾いただいたことが報告された。また、内諾をえていた吉田明前幹事については、諸事情で辞退となり、代わりの方を調整中である。終了後意見交換会（懇親会）を行う。講演会の詳細はホームページに公開する。

③ 今後の委員会開催計画について

第 316 回は特別講演会の翌日 11/20（金）に産総研臨海副都心センターで開催。特別招待講師として、Pennsylvania State Univ の L. Radovic 教授が分科会の中で講演を行う。午後 14 時～15 時頃に来場し、到着次第、1 時間程度の講演を想定している。2016 年度の開催日程は調整中で次回以降に案内する。2016 年 9 月の第 319 回は特別事業ト併せて大阪地区で開催予定。それ以外は東京地区で開催。

④ 第 5 回日独セミナー開催報告

参加できなかった会員にセミナーの内容を知ってもらうため、当日配布した要旨集に開催報告レポートを併せて製本し配布した。内容について、丸山特任幹事より当日の写真を交えて報告があった。次回は、2017 年 9 月に関西で開催するので、参加を是非検討してもらいたい。

(2) 分科会資料（発表順）

- 117-315-A-1 黒鉛の 001 回折線に関する一考察
（大阪ガス）○藤本宏之
- 117-315-A-2 C=C 二重結合距離を考慮した炭素網面サイズ分布の解析
（大阪ガス）○藤本宏之
- 117-315-A-3 グラファイトの Slonczewski-Weiss-McClure model における k 空間ジオメトリー
（東京都市大名譽）○菱山幸宥、鎗木裕
- 117-315-A-4 新カーボン用語辞典・I 討議結果& II 討議資料
（東工大名誉）○安田榮一、（元東海カーボン）浴永直孝、（群馬大名譽）大谷朝男、（元神戸製鋼）西澤節、（産総研つくば）羽鳥浩章、（元産総研）山田能生
- 117-315-B-1 金属含有炭素材料の触媒作用
（大阪市工研）○丸山純

- 117-315-B-2 組成制御タングステン系カーボンアロイの開発とその水素発生反応触媒活性
(群馬大) ○石井孝文、山田啓太、尾崎純一
- 117-315-C-1 オートクレーブ処理を用いたゴム高分子とカーボンブラック表面との相互作用の分析
(東北大) ○干川康人、安百鋼、柏原進、石井孝文、安東真理子、(ブリジストン) 藤澤秀忠、早川光太郎、浜谷悟司、山田浩、(東北大) 京谷隆
- 117-315-C-2 ナノカーボン電極による高分子アクチュエータ
(産総研関西) 安積欣志、杉野卓司、向健、○清原健司

4-3 その他報告事項

(1) 炭素材料学会近況報告

※尾崎主査(学会運営委員長)より学会運営について以下の報告があった。

- ・ 学会会員数の状況と関西大学で12月2-4日に行われる2015年度年会の準備状況が報告された。現地担当の小田委員からも準備状況が報告された。講演申し込みは口頭発表105件、ポスター72件、招待講演3件、国際的3件。
- ・ 講習会、セミナーの報告があった。夏季セミナーおよび次世代の会サテライトイベントが8/10-8/11に東京で開催され、川口委員長が講師に招かれて「炭素材料第117委員会が次世代の産学連携に期待すること」というタイトルで特別講演を行った。9/4に「炭素材料の凝集と分散～基礎から応用」といういつもの趣向のテーマでスキルアップセミナーを開催した。10月セミナーは10/16に「1日で学ぶ炭素材料の解析法」として物性と機能評価を中心に行う予定。
- ・ CARBON2020を日本で開催するための基礎情報収集を準備委員会で開始している。
- ・ 次世代の会が、夏季セミナー委員会と統合し、会の目的・組織・事業内容を明確化する作業を行っている。定例会を今年も年会の際に行う予定。
- ・ 2016年度の計画策定の作業を行っている。年会は千葉大学で行うことに決定。
- ・ 新カーボン用語辞典の発刊に向けた予算計画を行っている。プリントオンデマンドで発刊することも計画中。
- ・ 117委員会との連携の一環で、年会にて委員会の宣伝資料を予稿集とともに配布し、昼休みを利用した委員会紹介のプレゼンを行う時間を設けることとした。また、2016年に開催を計画している委員会の国際セミナーへの補助を決定した。

※編集委員長不在のため、炭素誌関連の報告は無し。宮嶋氏(編集委員)より編集作業の現状や論文賞の選考の最中であることの報告が簡単であった。

※干川氏(夏季セミナー実行委員)より、来年の夏季セミナーは長野で開催されることが紹介された、再来年は北海道を計画しているとのこと。

(2)国際会議関係 特になし

(3)CARBON誌関係 今回は特になし

(4)その他報告

- ・ 安田幹事より、近藤育英会の炭素材料に関する研究助成の募集が9月から行われている旨が紹介された。昨年度は3件の採択があったとのこと。

(以上)